平成29年度　愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
32401	経済のしくみ Basic Economics	早川　周	専門	2	選択	1・2 年　前期

科目の概要

将来、企業に就職する人はもとより、私たちが生活人として社会で生活していくためには「経済のしくみ」の知識は必要不可欠である。この科目は、私たちの生活の中にある経済のしくみとそれを分析、理解する経済学の考え方の基礎を学習することを目的としている。経済というととっつきにくい印象を持ちやすいが、私たちが無意識に日々、コンビニでモノを買う「消費行動」も経済の重要な要素であることに気付けばより身近に感じるはずである。

学修内容	到達目標
①　経済のしくみ、経済学の用語（キーワード）の意味、基本的な考え方を理解する。 ②　受講者が将来、生活者、企業人等のそれぞれの進路において、役立つ経済（学）の基礎知識と「ものの見方」を獲得する。	①　経済学の用語（キーワード）の意味や基本的な考え方を理解し、説明できるようになる。 ②　日々、報道される経済の動きに関心を持ち、その意味や原因、自分の生活との関係を考えることができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める具体的な社会人基礎力の行動事例
前に踏み出す力	主体性	この科目を履修して、経済のしくみを理解しようとする気持ちを持つと同時に、シラバス、テキスト、印刷教材を読み、新聞、テレビ、インターネットなどの経済に関する記事、番組、情報に関心を持つ。
	働きかけ力	
	実行力	新聞、テレビ、インターネットなどの経済記事、番組、情報を毎日、見たり、読んだりする。 テキストを通読する。
考え抜く力	課題発見力	経済の動きが自分たちの生活にどのような影響、問題をもたらしているか考えてみる。
	計画力	
	創造力	経済の動きの原因、経済問題の対策を自分なりに考えてみる。
チームで働く力	発信力	授業の毎回の振り返りシートに自分の疑問、意見を書く 教員からの発問に自分の意見を言うことができる
	傾聴力	教員の講義、他の学生の発言に耳を傾け、どういうことを言っているか考え、自分自身の意見との違いを考えてみる。
	柔軟性	
	情況把握力	
	規律性	5 回の授業の実施に対し 3 回以上欠席した場合、授業を 3 回連続して欠席した場合はオフィスアワーに担当教員の研究室に行き、補習、助言を受ける。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

テキスト：中矢俊博『入門書を読む前の経済学入門　第三版』（同文舘出版）
　　毎回の授業では印刷教材（授業のポイント、関連資料、演習・復習兼振り返りシート）を配布する。
参考文献：なし

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：「ビジネススタディユニットの各科目」は関連性が深い。
資格との関連：情報処理士・ビジネス実務士・メディカル秘書士

学習上の助言	受講生とのルール
①　講義形式を中心とするが、受講生の参加（授業中の発言、振り返りシートの記入）を求め、評価に反映する。 ②　授業で学んだことを基に、自分の周り（新聞、テレビ、インターネット等含む）にある経済の動きを観察し、自分なりに考えてみるようにする。	①　授業で配布する資料は原則、受講生の人数分のみを用意するので、保管には十分、注意する。 ②　欠席はやむをえない場合以外はしないようにする。また、連続して欠席をしないように注意する。

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標		各評価方法、評価にあたって重視する点、評価についてのコメント
筆記試験	90	①	✓	授業で紹介した用語、基礎知識を理解しているかを評価する 実際に起きている経済の動きを学んだ知識で考えることができるかを評価する。
		②	✓	
小テスト				
レポート				
成果発表 （口頭・実技）				
作品				
社会人基礎力 （学修態度）	10	①	✓	（主体性） ・この科目を履修して、経済のしくみを理解しようとする気持ちを持つと同時に、シラバス、テキスト、印刷教材を読み、新聞、テレビ、インターネットなどの経済に関する記事、番組、情報に関心を持つ。 （実行力） ・新聞、テレビ、インターネットなどの経済記事、番組、情報を毎日、見たり、読んだりする。 ・テキストを通読する。 （課題発見力） ・経済の動きが自分たちの生活にどのような影響、問題をもたらしているか考えてみる。 （創造力） ・経済の動きの原因、経済問題の対策を自分なりに考えてみる。 （発信力） ・授業の毎回の振り返りシートに自分の疑問、意見を書く。 ・教員からの発問に自分の意見を言うことができる。 （傾聴力） ・教員の講義、他の学生の発言に耳を傾け、どういうことを言っているか考え、自分自身の意見との異同を考えてみる。 （規律性） ・5回の授業の実施に対し3回以上欠席した場合、授業を3回連続して欠席した場合はオフィスアワーに担当教員の研究室に行き、補習、助言を受ける。
		②		
その他				
総合評価 割合	100		✓	筆記試験、学修態度の成績を総合して評価する。

【到達目標の基準】

到達レベルA(優)の基準	到達レベルB(良)の基準
授業内容の理解の上にたって、実際の経済の動きの意味、原因、対策を自分なりに考えることができる。 新聞、テレビ・ラジオ、インターネット等の経済のニュース、情報にふれることが苦にならない。	学んだ用語（キーワード）を説明できるだけでなく、その知識を利用して、経済の動きの因果関係を説明することができる。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週／	経済学の特徴、対象を理解する 経済循環とは何か理解する	講義	・経済循環とは何か、説明できる。	(復習)到達レベルC(可)の基準ができるようにする。 (予習)次週の学修内容をふまえた予習課題を出すので自分なりの答えを考える。	180	傾聴力 課題発見力
2週／	経済循環を構成する経済主体の間の関係について理解する 自分の買いたいもの、欲しい物を考える	講義	・経済主体間の関係を具体例で説明できる。	(復習)到達レベルC(可)の基準ができるようにする。 (予習)次週の学修内容をふまえた予習課題を出すので自分なりの答えを考える。	180	傾聴力 課題発見力
3週／	消費の定義、経済に果たす役割を理解する 消費の基にある人間の欲求を理解する 自分の食品に対する欲求を考える	講義	・消費が国の経済に果たしている役割を説明できる。	(復習)到達レベルC(可)の基準ができるようにする。 (予習)次週の学修内容をふまえた予習課題を出すので自分なりの答えを考える。	180	傾聴力 課題発見力
4週／	内食・外食・中食の意味と内容を理解する 食品消費の変化とその要因を理解する。 自分の食品の消費行動を考える。	講義	・内食・外食・内職の意味を例あげて説明することができる。	(復習)到達レベルC(可)の基準ができるようにする。 (予習)次週の学修内容をふまえた予習課題を出すので自分なりの答えを考える。	180	傾聴力 課題発見力
5週／	貯蓄の意味、経済に果たす役割を理解する 金利のしくみについて理解する 日本の貯蓄、貯蓄率の現状を知る	講義	・貯蓄が国の経済に果たしている役割を説明できる。	(復習)到達レベルC(可)の基準ができるようにする。 (予習)次週の学修内容をふまえた予習課題を出すので自分なりの答えを考える。	180	傾聴力 課題発見力
6週／	需要曲線と供給曲線の特徴を確認する 自由市場経済と市場機構の意味、機能について知る。	講義	・需要と供給の関係を説明できる。	(復習)到達レベルC(可)の基準ができるようにする。 (予習)次週の学修内容をふまえた予習課題を出すので自分なりの答えを考える。	180	傾聴力 課題発見力
7週／	価格弾力性の意味を理解する 食品の価格弾性値とその特徴を理解する	講義	・食品の価格弾力性の特徴を説明できる。	(復習)到達レベルC(可)の基準ができるようにする。 (予習)次週の学修内容をふまえた予習課題を出すので自分なりの答えを考える。	180	傾聴力 課題発見力
8週／	国民所得の意味を理解する 雇用・企業者・財産所得の意味を理解する ＧＤＰの意味、使い方を知る	講義	・ＧＤＰで測ることのできる事を説明できる。	(復習)到達レベルC(可)の基準ができるようにする。 (予習)次週の学修内容をふまえた予習課題を出すので自分なりの答えを考える。	180	傾聴力 課題発見力

能力名:主体性　働きかけ力　実行力　課題発見力　計画力　創造力　発信力　傾聴力　柔軟性　情況把握力　規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週/	分配国民所得、生産国民所得、支出国民所得について意味と現状を理解する 三面等価の法則を知る	講義	・三面等価の法則を説明できる。	(復習)到達レベルC(可)の基準ができるようにする。 (予習)次週の学修内容をふまえた予習課題を出すので自分なりの答えを考える。	180	傾聴力 課題発見力
10週/	好況、不況の意味を理解する 経済循環の考え方を理解する 景気循環の種類を知る	講義	・好況、不況でおきることを説明できる。	(復習)到達レベルC(可)の基準ができるようにする。 (予習)次週の学修内容をふまえた予習課題を出すので自分なりの答えを考える。	180	傾聴力 課題発見力
11週/	国際貿易の現状を理解する 比較生産の原理を理解する 自由貿易と保護貿易に意味を理解する	講義	・自由貿易と保護貿易の違いを説明できる。	(復習)到達レベルC(可)の基準ができるようにする。 (予習)次週の学修内容をふまえた予習課題を出すので自分なりの答えを考える。	180	傾聴力 課題発見力
12週/	世界経済の現状を理解する 食糧の自給率、輸入の現状を理解する 世界の貧困、飢餓の現状を知る	講義	・日本の食糧自給率の現状について説明できる。	(復習)到達レベルC(可)の基準ができるようにする。 (予習)次週の学修内容をふまえた予習課題を出すので自分なりの答えを考える。	180	傾聴力 課題発見力
13週/	外国為替とは何かを理解する 外国為替レートの仕組みとその意味を理解する	講義	・円高、円安とはどういうことか説明できる。	(復習)到達レベルC(可)の基準ができるようにする。 (予習)次週の学修内容をふまえた予習課題を出すので自分なりの答えを考える。	180	傾聴力 課題発見力
14週/	政府の役割と政府の収入を理解する 望ましい税制と国債発行の現状を知る 財政政策の役割を理解する	講義	・財政赤字とはどういうことが説明できる。	(復習)到達レベルC(可)の基準ができるようにする。 (予習)次週の学修内容をふまえた予習課題を出すので自分なりの答えを考える。	180	傾聴力 課題発見力
15週/	金融システムの役割を理解する 通貨の供給、物価の安定の意味を理解する 金融政策の役割を理解する	講義	・お金を借りることの意味を説明できる。	(復習)15 回の到達レベルC(可)の基準ができるようにする。試験の想定問題を配布するので自分なりの答えを考える。	180	傾聴力 課題発見力

能力名:主体性　働きかけ力　実行力　課題発見力　計画力　創造力　発信力　傾聴力　柔軟性　情況把握力　規律性　ストレスコントロール力